



ドナウの真珠に魅せられて

丸紅 ブダペスト出張所 坂梨 正典



クリスマスイルミネーションに映える聖イシュトバーン大聖堂。50年を費やし1905年に完成。息をのむ内装と、初代ハンガリー国王イシュトバーンの右手ミイラは必見



写真上) 余りにも有名なくさり橋と王宮。冬はやっぱり寒かった
写真右) 街角の花屋さん。かわいいトラムの終点にあります



ドナウの流れが東西から南北に変わるころ、首都ブダペストはもう目の前。これほどドナウが似合う街を私は知りません。遙か昔、ウラル山脈から流れてきた彼らはこの地に定住後、モンゴル、トルコ、ハプスブルク家、ソ連と数々の苦難を乗り越え今日に至ります。

①ハンガリー人（マジヤル人）
ブダペストで生活していると、ハンガリー人にはどこか親しみを覚えます。きつとアジアのDNAが残っていて、周辺諸国と全く異なる民族・言語であることが、日本人に似た生真面目さを醸し出すのでしょうか。会議でもジョークは無し、いきなり本題に入ります。対日感情は極めて良く、「第二次大戦同盟国」、「奇跡の経済復興と先端技術」、「アニメ・MANGA」といつ

た日本に対する印象が親近感や好イメージに繋がっているようです。

②ハンガリー語
マジヤル語とも言ひ、ここだけで使われる言語です。先日掃除機を買ったのですが、店員の説明は全く判らず、取扱説明書も英語が併記されておらず読めません。三週間後に故障してしまい、店に持って行くと、保証書にあるサービスセンターへ行つて欲しいとのことでした。同センターの担当者もハンガリー語で会話をすることは絶望的であり、掃除機は毎日必要なことから直ぐに新品を買い直すこととしました。

赴任以来、ハンガリー語を学習中ですが、掃除機修理を達成できる日は遠い将来になりそうです。



これがクルトウーシュ・カラージュ（トンネル菓子パン）です。美味しそうですね？

③美味しいもの
やっぱり避けて通れない話題。海がないので魚がない。当たり前ですが、日本人には結構辛い。でも美味しいものも沢山あります。その多くは肉、砂糖、パプリカ（ピーマンの赤、橙、黄色版）絡みです。中でも今回はクルトウーシュ・カラージュ（トンネル菓子パン）を紹介。それはパン生地を太い木の棒に巻きつけ、バターを塗りながら炭火でこんがり焼いたもので、仕上げに砂糖をまぶします。寒い季節向きで、街を彩るクリスマスイルミネーションの下、露店で食べるそれは、もちもち感たっぷり超美味！これに甘さを控えぬ名物ホットワインがあつたら最高です。ご来洪（※）の際は、ぜひともお試しくださいね。

※ハンガリーは漢字で「洪牙利」と記し、「洪」と略す。